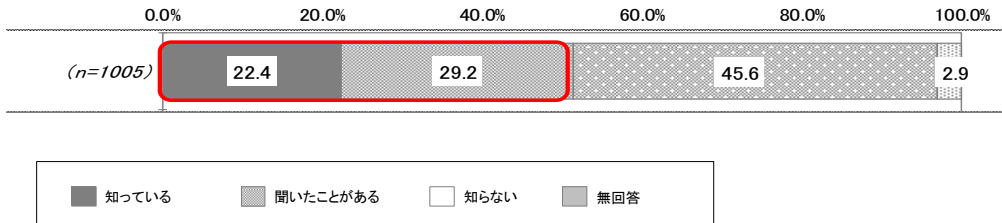


3. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

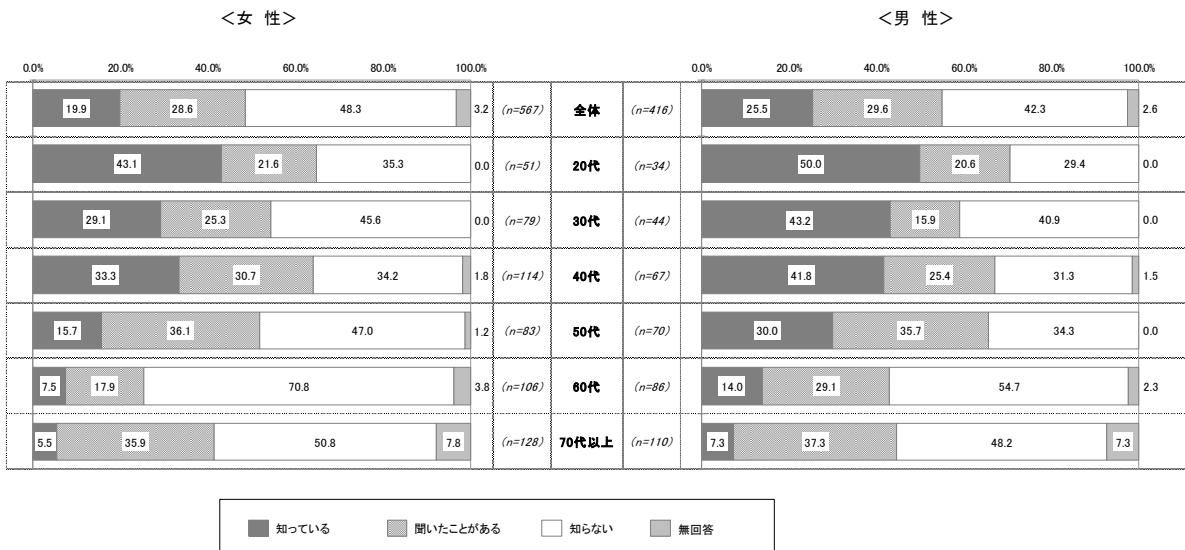
(1)「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」の認知度

図表 33 問 5 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」についてご存じですか。(SA)
[全体]

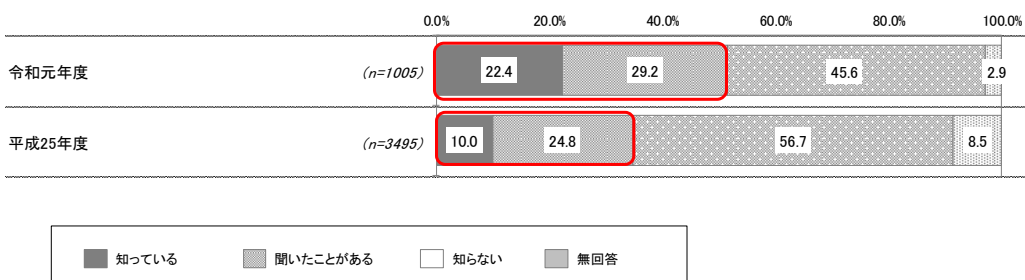


「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」の認知度(「知っている」と「聞いたことがある」の計)は、全体で51.6%と過半数を超えた。男女別にみても、男性 55.0%、女性 48.5%と、男性の方が6.5ポイント高い。世代別でも男性の方が全世代を通じて女性に比べて認知度が高く、年代別にみても男性の方が全世代を通じて女性に比べて認知度は高い。

図表 34 問 5 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」についてご存じですか。(SA)
[性別・年代別]



図表 35 問 5 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」についてご存じですか。(SA)
[性別 経年比較]



(2)「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」の関係について

① 男性にとっての望ましいあり方

【図表 36】 問6 あなたは、男性と女性のそれぞれについて、「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」の関係がどのようにあるのが望ましいと思いますか。(ア)男性 (SA) [性別]

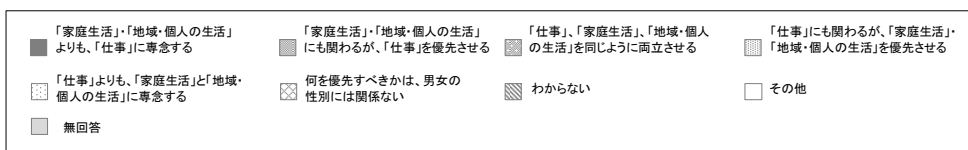
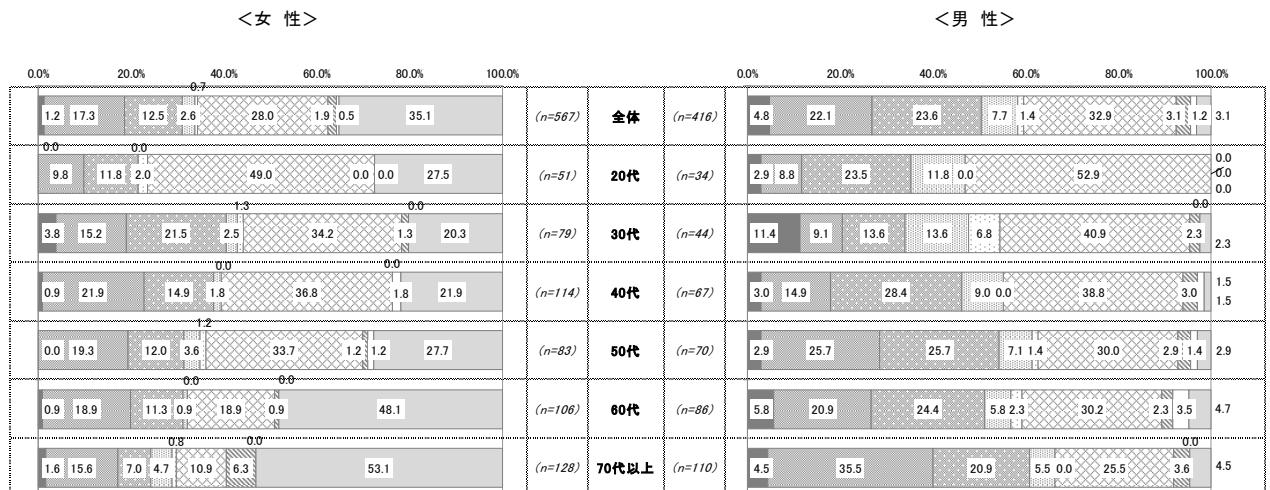
		(%)									
		全体(n)	「家庭生活」・「地域・個人の生活」よりも、「仕事」に専念する	「家庭生活」・「地域・個人の生活」にも関わるが、「仕事」を優先させる	「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を同じように両立させる	「仕事」にも関わるが、「家庭生活」・「地域・個人の生活」を優先させる	「仕事」よりも、「家庭生活」と「地域・個人の生活」に専念する	何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない	わからない	その他	無回答
全体		1005	2.7	19.0	17.1	4.8	1.0	30.4	2.7	0.8	21.5
性別	男性	416	4.8	22.1	23.6	7.7	1.4	32.9	3.1	1.2	3.1
	女性	567	1.2	17.3	12.5	2.6	0.7	28.0	1.9	0.5	35.1
	その他・答えたくない	11	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	63.6	9.1	0.0	18.2
	無回答	11	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	27.3	18.2	0.0	18.2

「何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない」とする者の割合が、30.4%と最も多く、続いて、「『家庭生活』・『地域・個人の生活』にも関わるが、『仕事』を優先させる」19.0%、「『仕事』、『家庭生活』、『地域・個人の生活』を同じように両立させる」17.1%となる。

男女別にみると、男性は、「何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない」とする者の割合が 32.9%と一番多く、続いて、「『仕事』、『家庭生活』、『地域・個人の生活』を同じように両立させる」が 23.6%となる。

女性では、無回答が 35.1%を占める。「何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない」とする者の割合が 28.0%で、男性の回答よりは低い結果であった。「『家庭生活』・『地域・個人の生活』にも関わるが、『仕事』を優先させる」は 17.3%であった。

【図表 37】 問6(ア)「男性にとっての望ましいあり方」[性別・年代別] (SA)



② 女性にとっての望ましいあり方

図表 38 問6 あなたは、男性と女性のそれぞれについて、「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」の関係がどのようにあるのが望ましいと思いますか。(イ)女性 (SA) [性別]

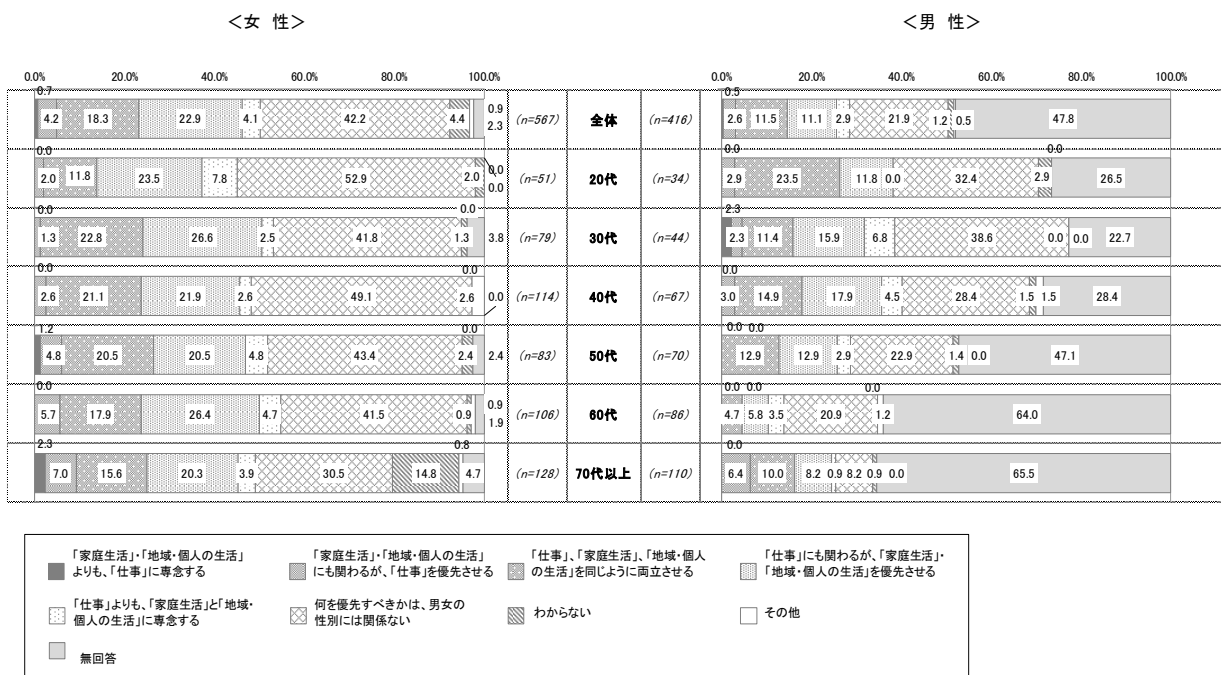
		(%)									
		全体(n)	「家庭生活」「地域・個人の生活」よりも、「仕事」に専念する	「家庭生活」「地域・個人の生活」にも関わるが、「仕事」を優先させる	「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を同じように両立させる	「仕事」にも関わるが、「家庭生活」「地域・個人の生活」を優先させる	「仕事」よりも、「家庭生活」と「地域・個人の生活」に専念する	何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない	わからない	その他	無回答
全体		1005	0.6	3.6	15.2	17.7	3.7	33.9	3.0	0.7	21.6
性別	男性	416	0.5	2.6	11.5	11.1	2.9	21.9	1.2	0.5	47.8
	女性	567	0.7	4.2	18.3	22.9	4.1	42.2	4.4	0.9	2.3
	その他・答えたくない	11	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	72.7	0.0	0.0	9.1
	無回答	11	0.0	9.1	9.1	9.1	9.1	27.3	0.0	0.0	36.4

「何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない」とする者の割合が、33.9%と最も多く、続いて、「『仕事』にも関わるが、『家庭生活』、『地域・個人の生活』を優先させる」17.7%、「『仕事』、『家庭生活』、『地域・個人の生活』を同じように両立させる」15.2%となる。

「『家庭生活』、『地域・個人の生活』にも関わるが、『仕事』を優先させる」とする者の割合は、男性にとっての望ましいあり方としては19.0%と上位に挙げたが、女性にとっての望ましいあり方としては3.6%にとどまった。

男女別にみると、「何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない」とする者の割合が女性は42.2%と、男性の21.9%よりも多い。また、男性では無回答が47.8%と約半数を占めた。

図表 39 問6(イ)「女性にとっての望ましいあり方」[性別・年代別] (SA)



(3)生活の中での、「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」に関する現状の優先度について

【図表 40】 問7 生活の中での「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」の優先度についてお伺いします。(SA)

[性別]

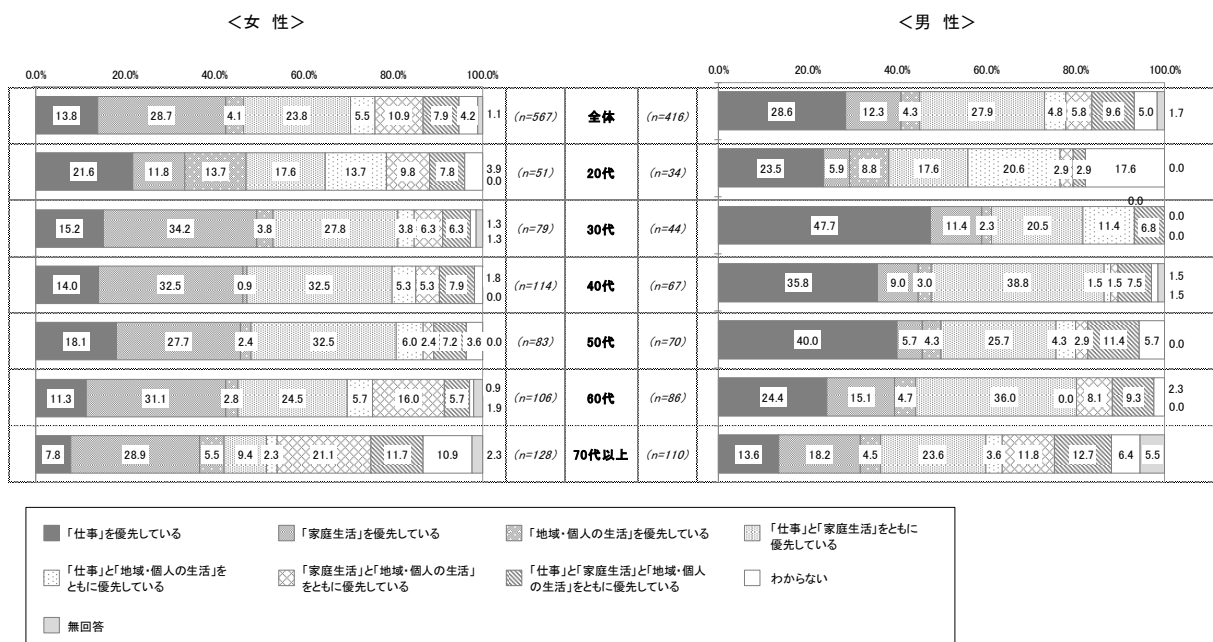
		全体(n)	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	無回答
全体		1005	19.8	21.8	4.2	25.2	5.2	8.7	8.7	5.2	1.4
性別	男性	416	28.6	12.3	4.3	27.9	4.8	5.8	9.6	5.0	1.7
	女性	567	13.8	28.7	4.1	23.8	5.5	10.9	7.9	4.2	1.1
	その他・答えたくない	11	0.0	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2	36.4	9.1
	無回答	11	18.2	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0

「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が 25.2%と最も多く、続いて、「『家庭生活』を優先している」21.8%、「『仕事』を優先している」が 19.8%と続く。

男女別にみると、男性では「『仕事』を優先している」が 28.6%と、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」27.9%をわずかに上回る。「『家庭生活』を優先している」は 12.3%。一方、女性では「『家庭生活』を優先している」が 28.7%と、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」23.8%を上回る。「『仕事』を優先している」は 13.8%。

【図表 41】 問7 生活の中での「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」の優先度についてお伺いします。(SA)

[性別・年代別]



(4)地域活動(町会、PTA、ボランティア、NPO などでの活動)の参加状況について

町会、PTA、ボランティア、NPO などの地位活動に、「まったく参加したことがない」と回答した者は 38.6%。「現在参加している」と回答した者は 17.1%であった。

参加経験あり(「現在参加している」と「過去に参加したことがある」の計)は、女性は 65.1%で男性の 53.6%よりも多い。

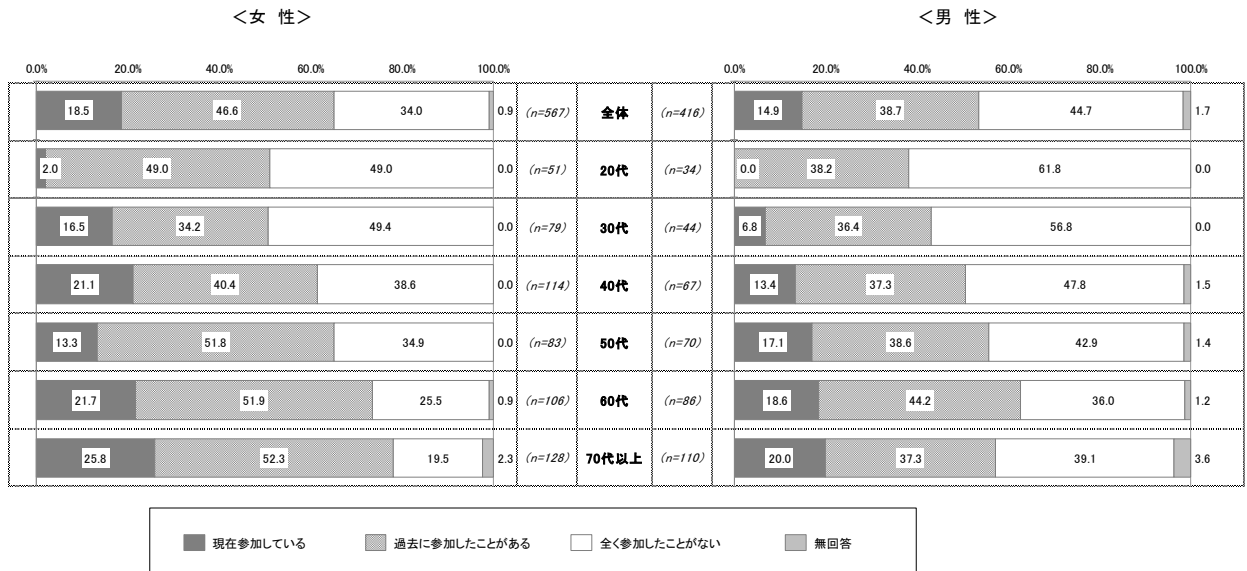
図表 42 問8 地域活動(町会、PTA、ボランティア、NPO などでの活動)についてお尋ねします。あなたは、地域活動に参加したことがありますか。(SA)

[全体・性別]

		(%)						
		全体(n)	現在参加している	過去に参加したことがある	全く参加したことがない	無回答	参加経験あり計	現在非参加計
全体		1005	17.1	43.0	38.6	1.3	60.1	81.6
性別	男性	416	14.9	38.7	44.7	1.7	53.6	83.4
	女性	567	18.5	46.6	34.0	0.9	65.1	80.6
	その他・答えたくない	11	36.4	9.1	54.5	0.0	45.5	63.6
	無回答	11	9.1	54.5	27.3	9.1	63.6	81.8

図表 43 問8 地域活動(町会、PTA、ボランティア、NPO などでの活動)についてお尋ねします。あなたは、地域活動に参加したことがありますか。(SA)

[性別・年代別]

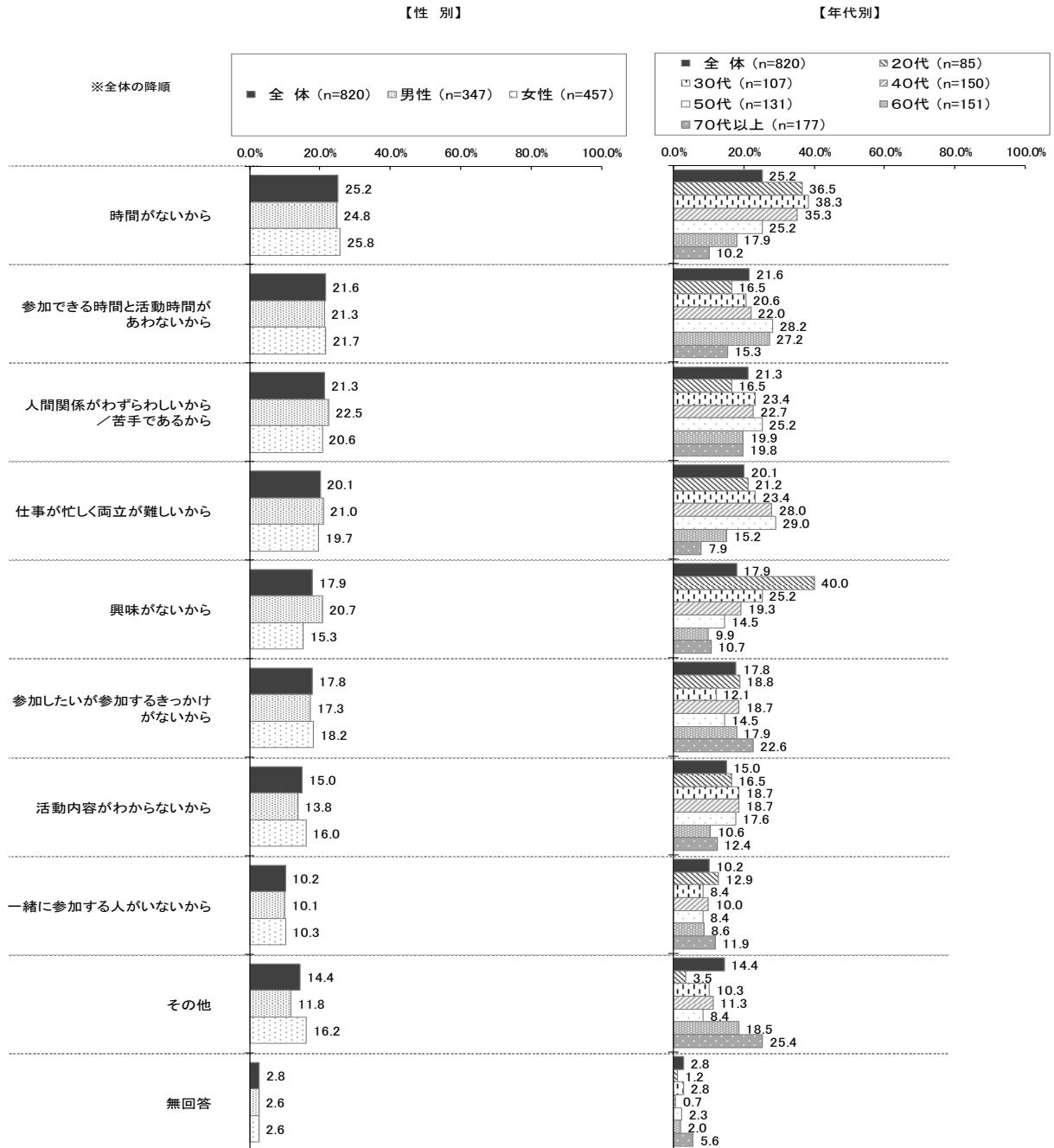


(5) 地域活動(町会、PTA、ボランティア、NPO などの活動)に、現在参加していない理由

図表 44 問9 問8で「2. 過去に参加したことがある」、「3. 全く参加したことがない」を選んだ方にお尋ねします。現在参加していない理由について、あてはまるものに○をつけてください。(MA・3 つまで)

[性別・年代別]

※問8=「過去に参加したことがある」「全く参加したことがない」選択者



注) 数値は地域活動に「過去に参加したことがある」「全く参加したことがない」との回答者を100とした%

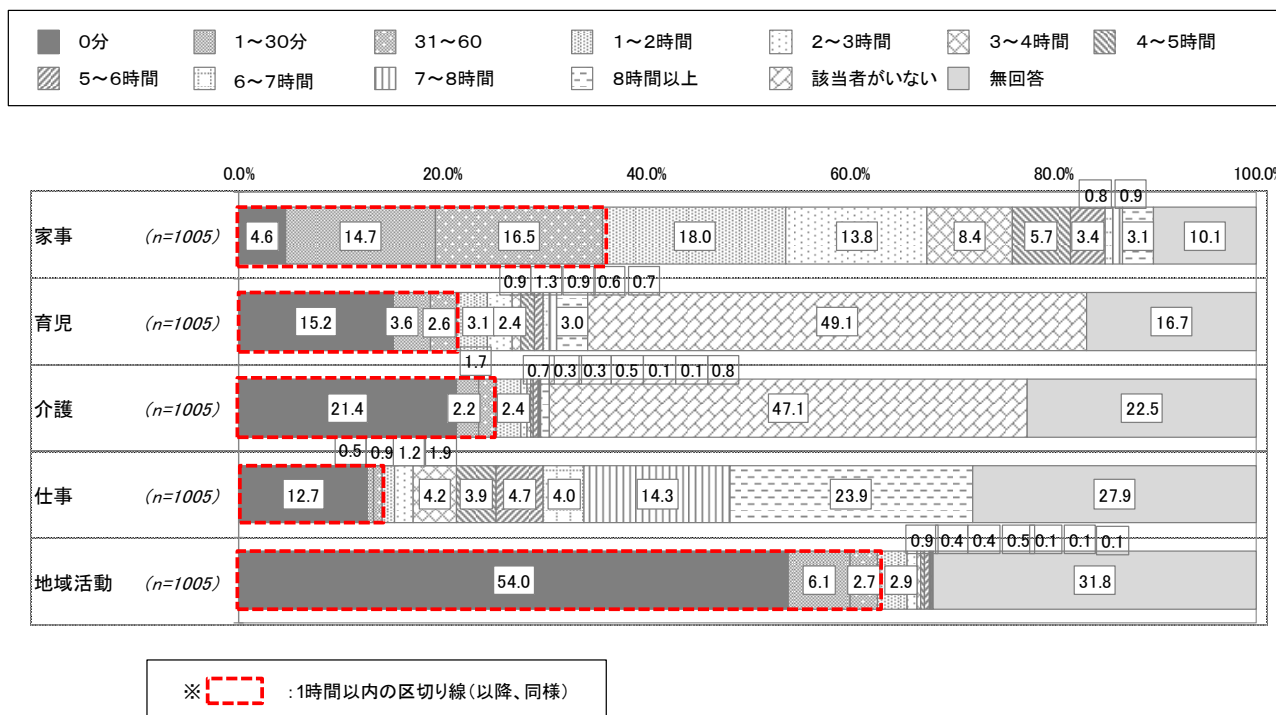
町会、PTA、ボランティア、NPO などの地域活動に現在参加していない理由は、「時間がないから」が 25.2%、「参加できる時間と活動時間があわないから」が 21.6%と、時間を理由に参加できていない人が多いことがうかがえる。

その他が 14.4%あったが、「どこでどのような活動がされているのか知らないため」(30代 女性)、「時間がないのもあるが、自分の周りでお誘いも機会もないのでよく分からない」(30代 女性)、「都市で一人暮らしだから、よばれたこともない。実家では参加する」(30代 女性)、「自ら、というより、機会があったり、参加を促されたときに参加しています」(40代 女性)、「活動に関する情報が入りにくい」(60代 女性)など、情報がないことを理由としたものや、自発的に参加することはないが誘われれば参加してもいいと思われる意見もみられた。

(6) 1日のうちに家事・育児・介護などに費やす時間

図表 45 問 10 あなたは、平日において、1日のうちに家事・育児・介護などに、どの程度の時間を費やしていますか。(SA)

[全項目]



		合計 (N)	0分	1 〜 30分	31 〜 60分	1 〜 2時間	2 〜 3時間	3 〜 4時間	4 〜 5時間	5 〜 6時間	6 〜 7時間	7 〜 8時間	8 時間 以上	該 当 者 が い な い	無 回 答
1	家事	1,005	4.6	14.7	16.5	18.0	13.8	8.4	5.7	3.4	0.8	0.9	3.1	-	10.1
2	育児	1,005	15.2	3.6	2.6	3.1	2.4	0.9	1.3	0.9	0.6	0.7	3.0	49.1	16.7
3	介護	1,005	21.4	2.2	1.7	2.4	0.7	0.3	0.3	0.5	0.1	0.1	0.8	47.1	22.5
4	仕事	1,005	12.7	0.5	0.9	1.2	1.9	4.2	3.9	4.7	4.0	14.3	23.9	-	27.9
5	地域活動	1,005	54.0	6.1	2.7	2.9	0.9	0.4	0.4	0.5	0.1	0.1	0.1	-	31.8

1日のうちに費やす時間が1時間未満である割合は、家事は 35.8%、育児は 21.4%、介護は 25.3%、仕事は 14.1%、地域活動は 62.8%であった。

ただし、育児については 49.1%、介護については 47.1%が「該当者なし」という回答であった。

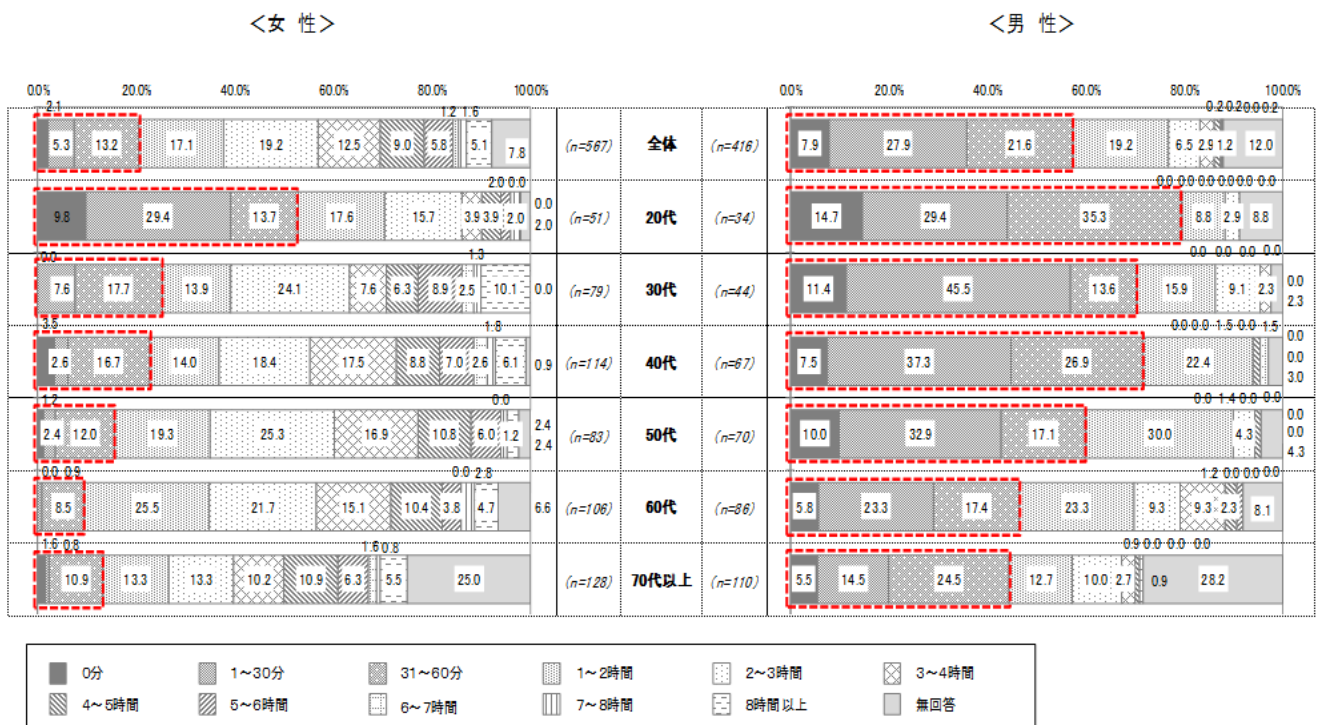
(7) 1日のうちに家事に費やす時間と、費やす時間が少ない理由

図表 46 問 10-1 「1日のうちに家事に費やす時間」(SA) [全体・性別]

		全体(n)	0分	1~30分	31~60分	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6~7時間	7~8時間	8時間以上	無回答
全体		1005	4.6	14.7	16.5	18.0	13.8	8.4	5.7	3.4	0.8	0.9	3.1	10.1
性別	男性	416	7.9	27.9	21.6	19.2	6.5	2.9	1.2	0.2	0.2	0.0	0.2	12.0
	女性	567	2.1	5.3	13.2	17.1	19.2	12.5	9.0	5.8	1.2	1.6	5.1	7.8
	その他・答えたくない	11	9.1	18.2	0.0	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2
	無回答	11	0.0	0.0	9.1	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5

家事時間1時間未満の割合は、男性は57.4%と、女性の20.6%よりも多い。家事時間3時間以上という割合は、男性は4.7%に対し、女性は35.2%と30ポイント以上多い。

図表 47 問 10-1 「1日のうちに家事に費やす時間」(SA) [性別・年代別]

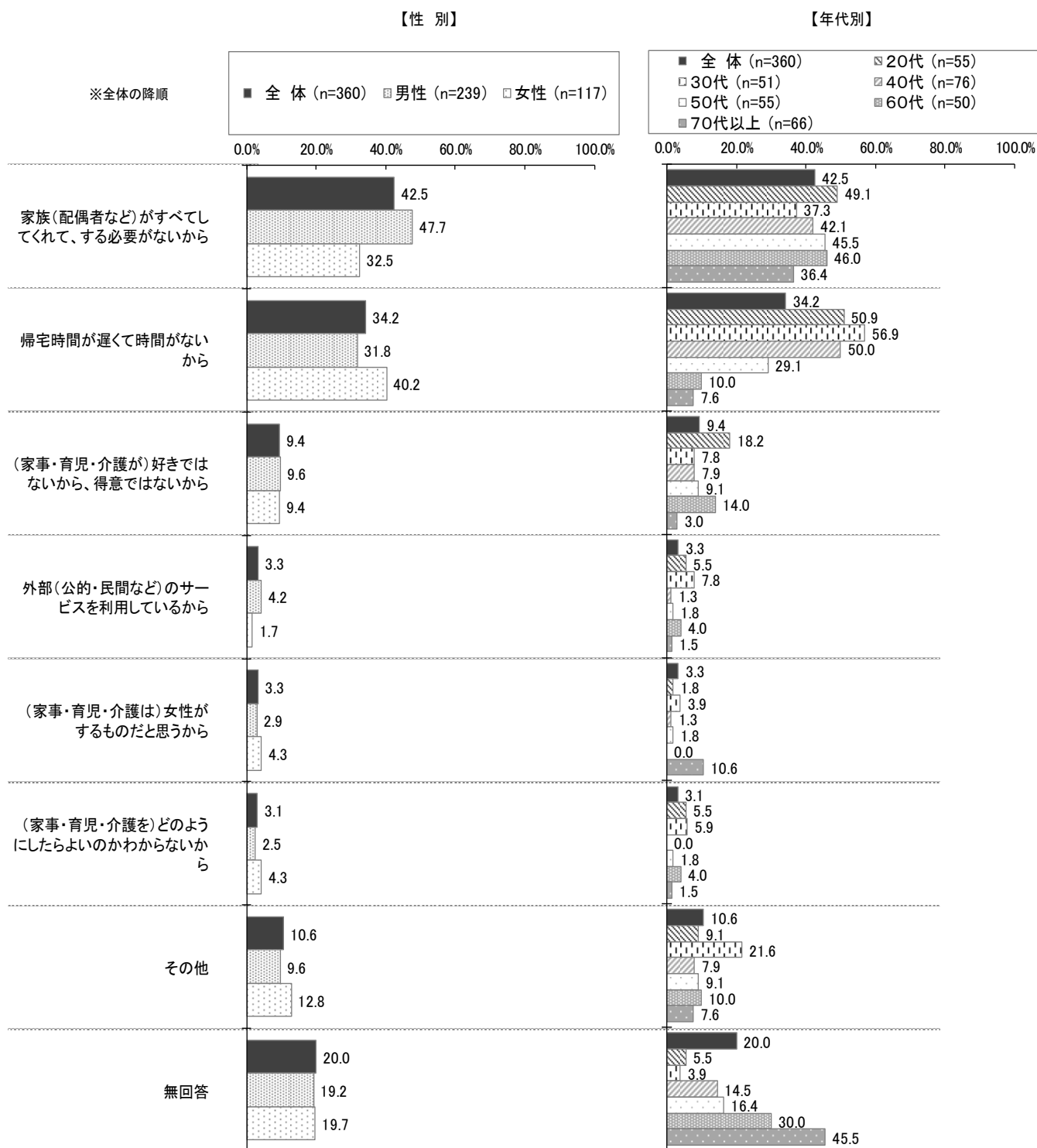


図表 48 「20代~40代の家事時間」

	全体	30分以内	31分~1時間	1時間以上
全体(%)		27.0%	19.9%	53.0%
(n)	381	103	76	202
20代~40代男性(%)		50.4%	25.9%	23.7%
(n)	139	70	36	33
20代~40代女性(%)		13.6%	16.5%	69.8%
(n)	242	33	40	169

20代から40代に限って比べると、男性は、30分以内が50.4%であった。一方、女性は1時間以上が69.8%とおよそ7割を占める。

図表 49 問 11 「問 10 の 1. 家事 2. 育児 3. 介護にて「0分、1～30分、31～60分」を選んだ方」にお伺いします。
 家事、育児、介護に費やす時間が少ない理由はなぜですか。〈家事〉（MA）〔性別・年代別〕



注) 数値は平日において家事に費やす時間として「0分～60分」との回答者を100とした%

家事に費やす時間が少ない理由については、「家族(配偶者など)がすべてしてくれて、する必要がないから」が42.5%と最も多く、続いて「帰宅時間が遅くて時間がないから」34.2%となる。

(8)1日のうちに育児に費やす時間と、費やす時間が少ない理由

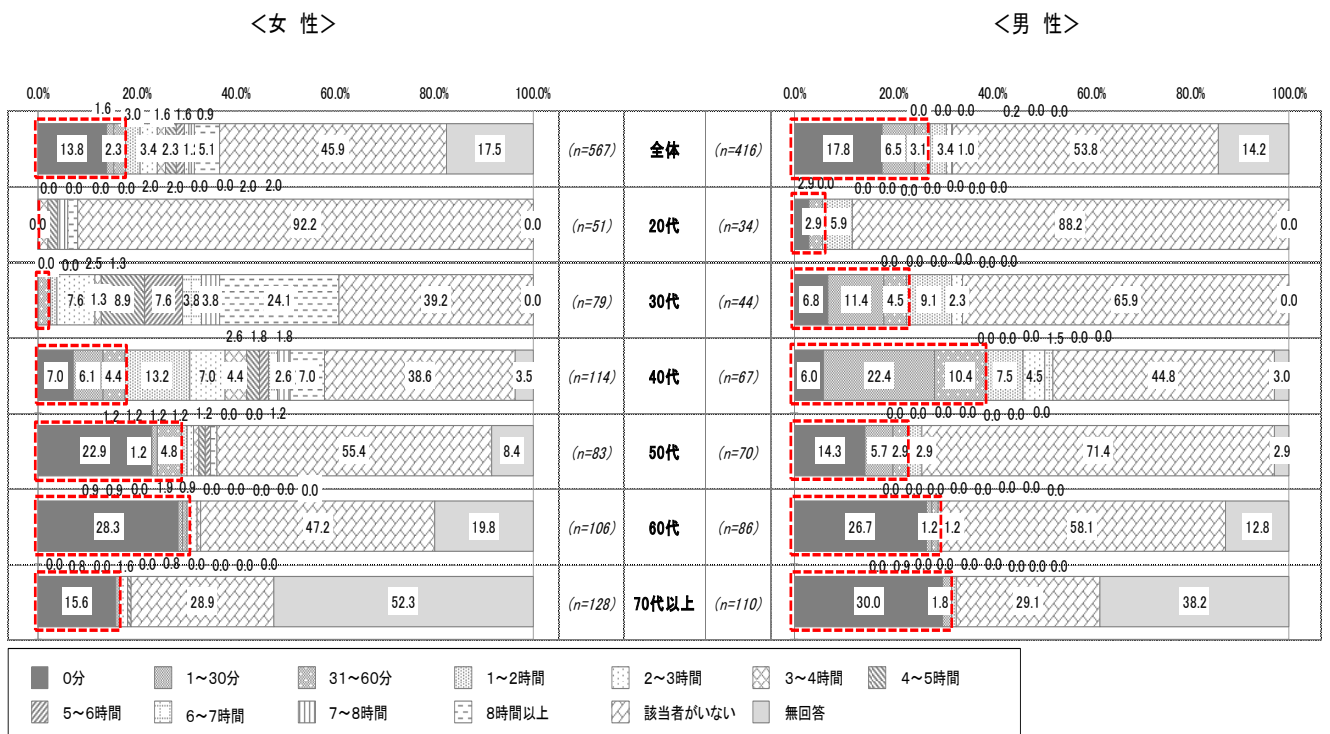
図表 50 問 10-2 「1日のうちに育児に費やす時間」(SA)[全体・性別]

		全体(n)	0分	1~30分	31~60分	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6~7時間	7~8時間	8時間以上	該当者がいない	無回答	(%)
全体		1005	15.2	3.6	2.6	3.1	2.4	0.9	1.3	0.9	0.6	0.7	3.0	49.1	16.7	
性別	男性	416	17.8	6.5	3.1	3.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	53.8	14.2	
	女性	567	13.8	1.6	2.3	3.0	3.4	1.6	2.3	1.6	0.9	1.2	5.1	45.9	17.5	
	その他・答えたくない	11	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	27.3	
	無回答	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	27.3	63.6	

「該当者がいない」と「無回答」の合計は、全体で6割以上を占めた(男性68%、女性63.4%)。

1日のうちに育児に費やす時間が1時間未満の割合は、男性は27.4%、女性は17.7%であった。性・年代別に見ると、1時間未満の割合は女性30代で2.5%の対し、男性30代では22.7%と差が大きくなっている。

図表 51 問 10-2 「1日のうちに育児に費やす時間」(SA)[性別・年代別]

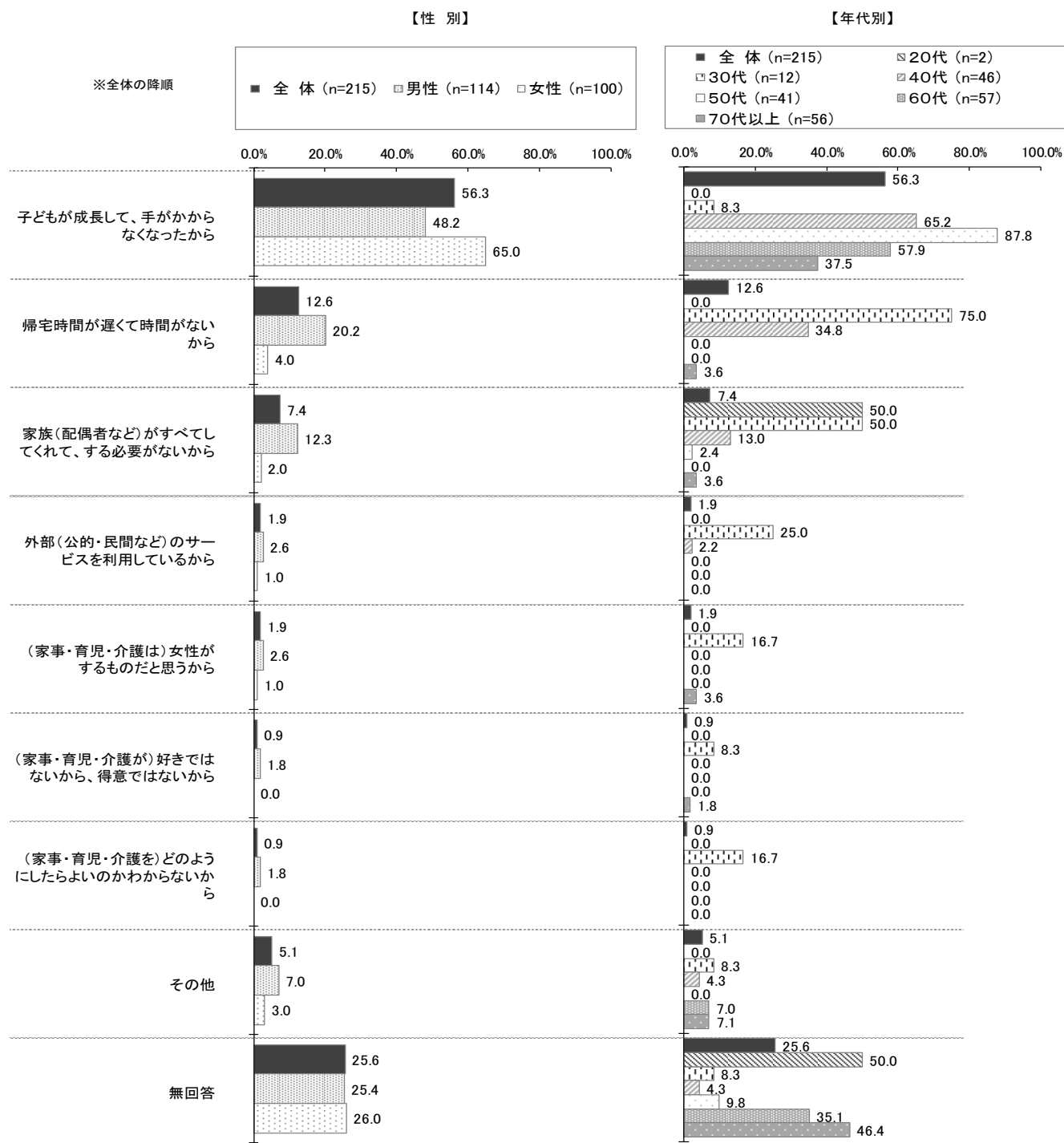


図表 52 20~40代の育児時間

	全体	30分以内	31分~1時間	1時間以上
全体(%)	172	25.0%	9.9%	65.1%
(n)		43	17	112
20代~40代男性(%)	54	51.9%	18.5%	29.6%
(n)		28	10	16
20代~40代女性(%)	118	12.7%	5.9%	81.4%
(n)		15	7	96

20代から40代に限って比べると、男性は、30分以内が51.9%。一方、女性は1時間以上が81.4%である。

図表 53 問 11 「問 10 の 1. 家事 2. 育児 3. 介護にて「0分、1～30 分、31～60 分」を選んだ方」にお伺いします。家事、育児、介護に費やす時間が少ない理由はなぜですか。〈育児〉（SA）〔性別・年代別〕



注) 数値は平日において育児に費やす時間として「0分～60分」との回答者を100とした%

育児に費やす時間が少ない理由については「子どもが成長して、手がかからなくなったから」が 56.3%と最も多く、続いて「帰宅時間が遅くて時間がないから」12.6%となる。男女別にみると、男性では「家族(配偶者など)がすべてしてくれて、する必要がないから」が 12.3%であった。

(9) 1日のうちに介護に費やす時間と、費やす時間が少ない理由

図表 54 「1日のうちに介護に費やす時間」(SA)[全体・性別]

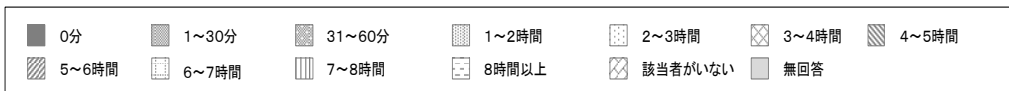
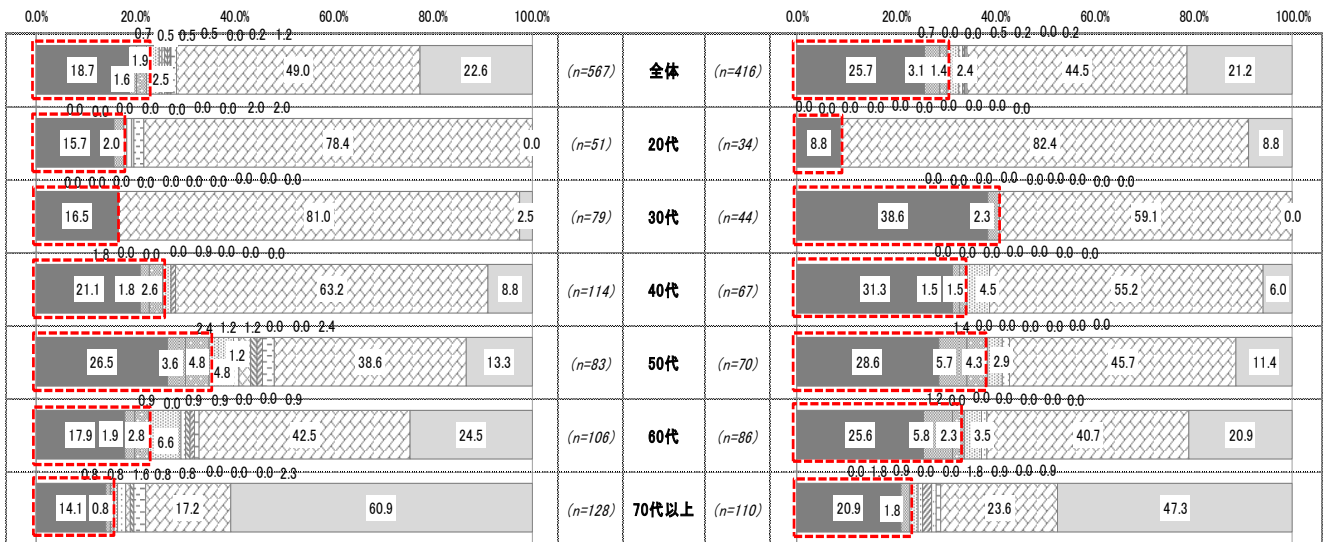
		全体(n)	0分	1~30分	31~60分	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6~7時間	7~8時間	8時間以上	該当者がいない	無回答	(%)
全体		1005	21.4	2.2	1.7	2.4	0.7	0.3	0.3	0.5	0.1	0.1	0.8	47.1	22.5	
性別	男性	416	25.7	3.1	1.4	2.4	0.7	0.0	0.0	0.5	0.2	0.0	0.2	44.5	21.2	
	女性	567	18.7	1.6	1.9	2.5	0.7	0.5	0.5	0.5	0.0	0.2	1.2	49.0	22.6	
	その他・答えたくない	11	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	27.3	
	無回答	11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	63.6	

「該当者がいない」と「無回答」の合計は全体で7割近くを占めた(男性65.7%、女性71.6%)。
 1日のうちに介護に費やす時間が1時間未満の割合は、男性で30.2%、女性で22.2%であった。

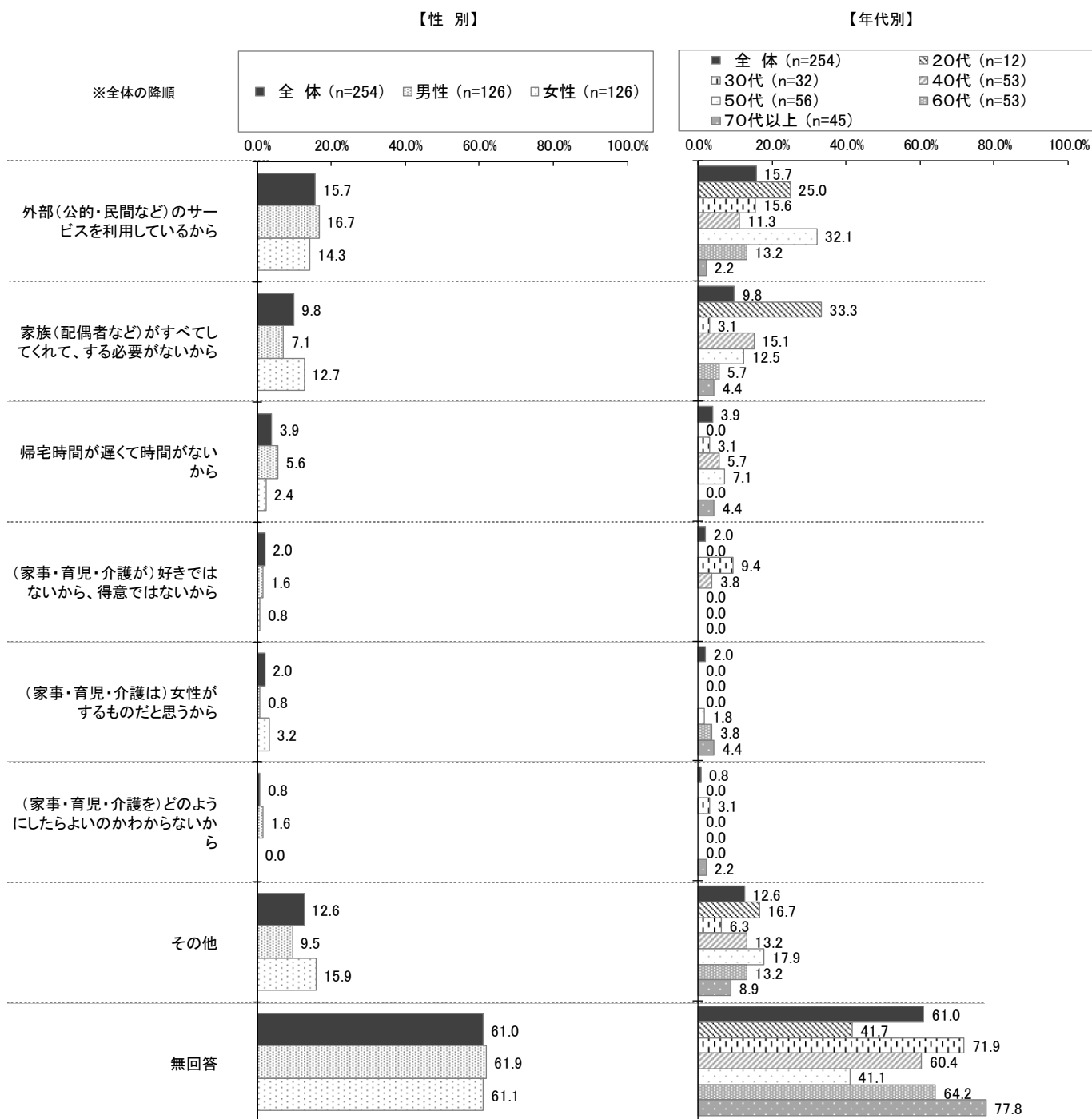
図表 55 「1日のうちに介護に費やす時間」(SA)[性別・年代別]

<女性>

<男性>



図表 56 問 11 「問 10 の 1. 家事 2. 育児 3. 介護にて「0分、1～30 分、31～60 分」を選んだ方」にお伺いします。家事、育児、介護に費やす時間が少ない理由はなぜですか。〈介護〉 (MA) [性別・年代別]



注) 数値は平日において介護に費やす時間として「0分～60分」との回答者を100とした%

介護に費やす時間が少ない理由としては「外部(公的・民間など)のサービスを利用しているから」が 15.7%でもっとも多く、続いて「家族(配偶者など)がすべてしてくれて、する必要がないから」9.8%であった。

(10) 1日のうちに仕事に費やす時間

図表 57 「1日のうちに仕事に費やす時間」(SA)

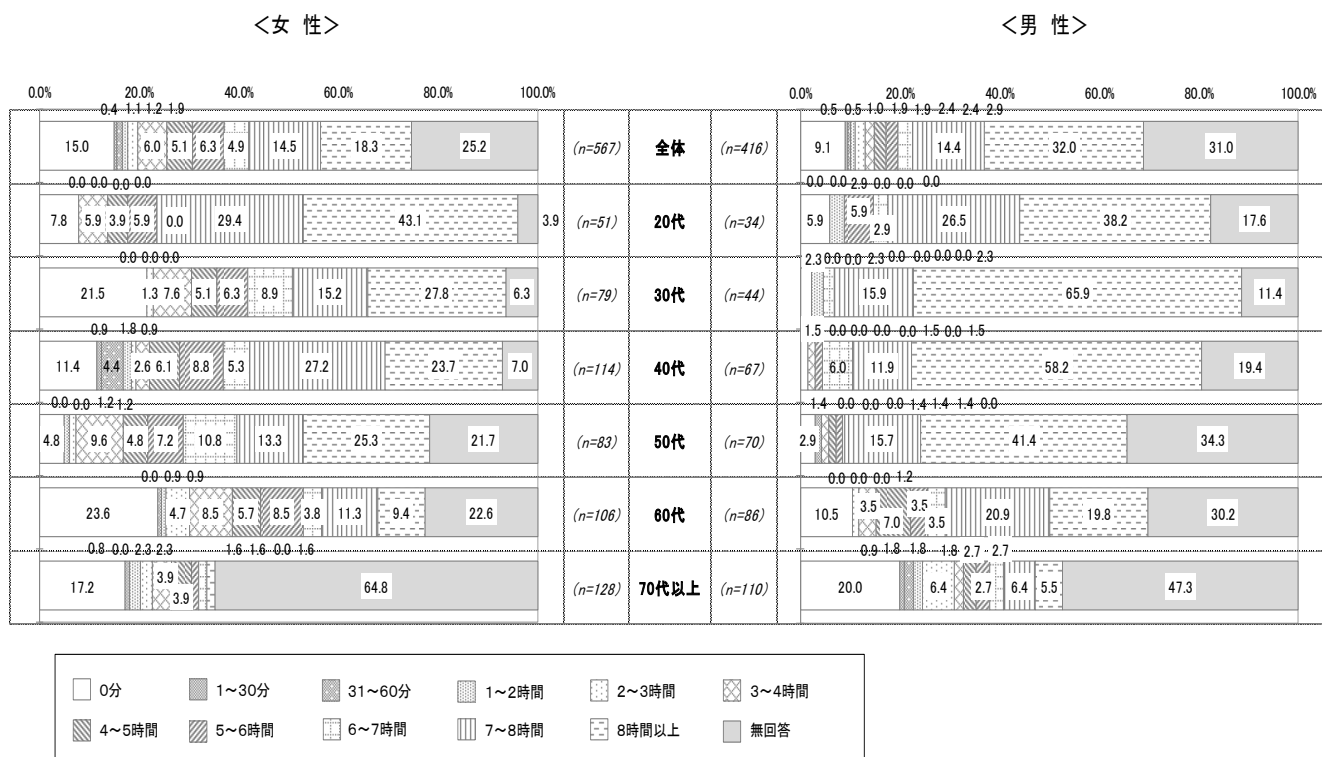
[全体・性別]

		全体(n)	0分	1~30分	31~60分	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6~7時間	7~8時間	8時間以上	無回答
全体		1005	12.7	0.5	0.9	1.2	1.9	4.2	3.9	4.7	4.0	14.3	23.9	27.9
性別	男性	416	9.1	0.5	0.5	1.0	1.9	1.9	2.4	2.4	2.9	14.4	32.0	31.0
	女性	567	15.0	0.4	1.1	1.2	1.9	6.0	5.1	6.3	4.9	14.5	18.3	25.2
	その他・答えたくない	11	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1
	無回答	11	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	63.6

1日のうちに仕事に費やす時間が 8 時間以上という割合は、全体で 23.9%と最も多い。性別にみると、男性は 32.0%と女性の 18.3%よりも多い。

図表 58 「1日のうちに仕事に費やす時間」(SA)

[性別・年代別]



(11) 1日のうちに地域活動に費やす時間

図表 59 「1日のうちに地域活動に費やす時間」(SA)

[全体・性別]

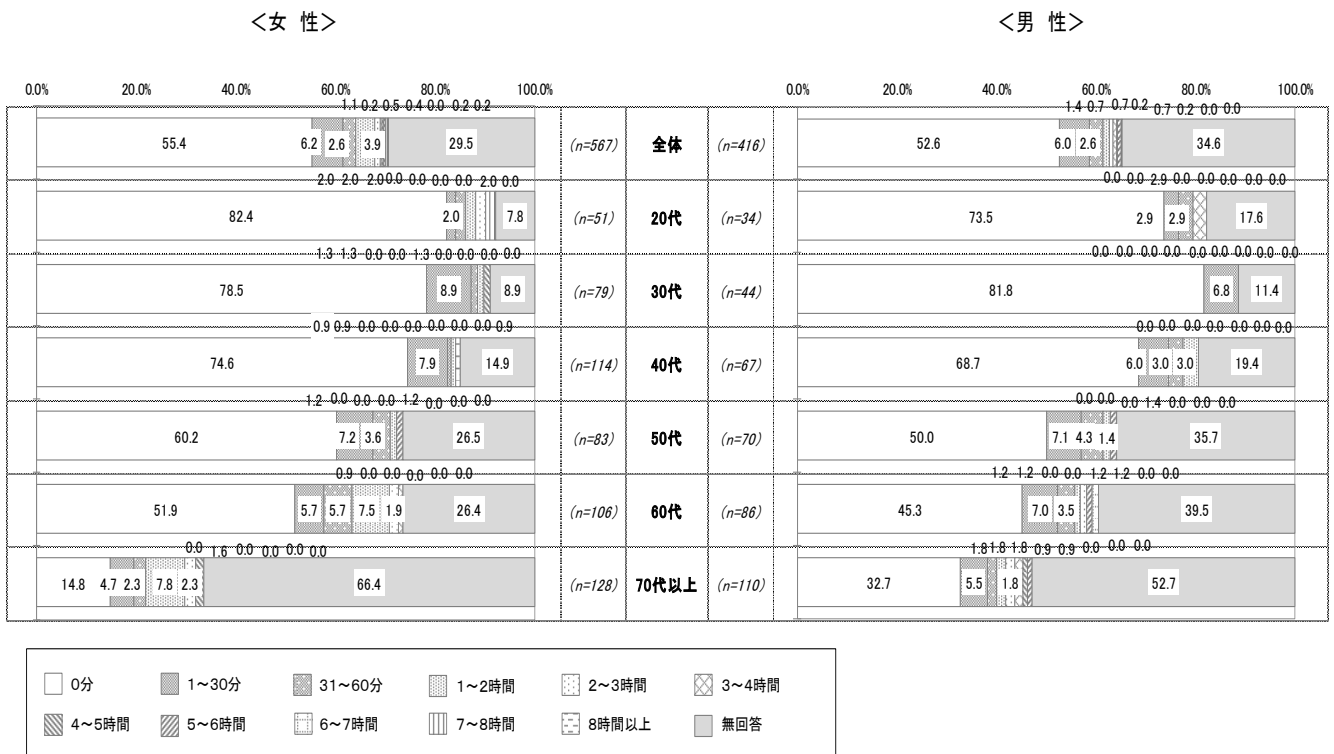
		全体(n)	0分	1~30分	31~60分	1~2時間	2~3時間	3~4時間	4~5時間	5~6時間	6~7時間	7~8時間	8時間以上	無回答	(%)
全体		1005	54.0	6.1	2.7	2.9	0.9	0.4	0.4	0.5	0.1	0.1	0.1	31.8	
性別	男性	416	52.6	6.0	2.6	1.4	0.7	0.7	0.2	0.7	0.2	0.0	0.0	34.6	
	女性	567	55.4	6.2	2.6	3.9	1.1	0.2	0.5	0.4	0.0	0.2	0.2	29.5	
	その他・答えたくない	11	63.6	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	
	無回答	11	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6	

1日のうちに地域活動に費やす時間は、全体で見ると0分が5割以上を占めている(女性55.4%、男性52.6%)。また、無回答も3割であった。

30~60代の方は1割前後が、地域活動になんらかの時間を割いていることがわかる。

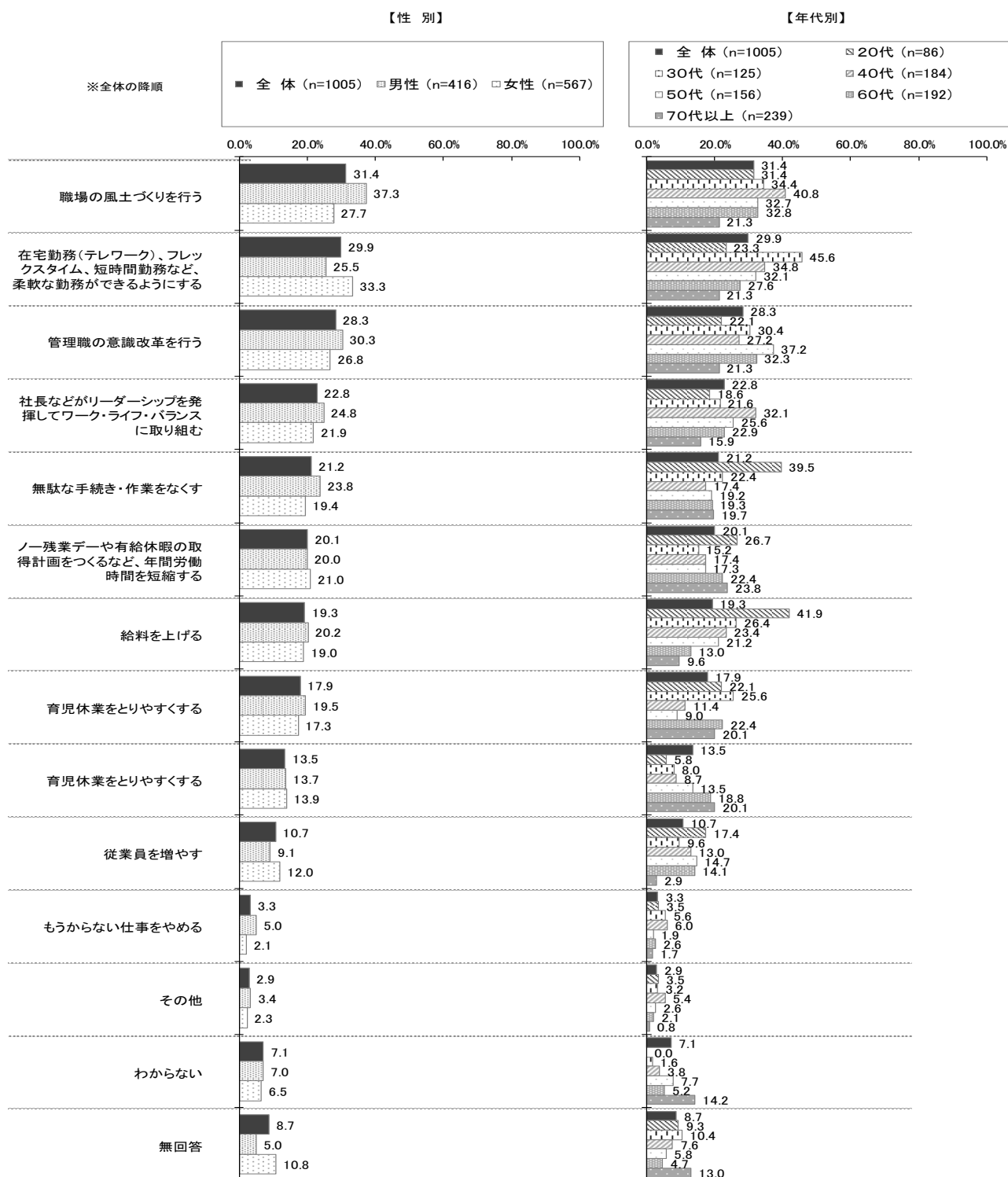
図表 60 「1日のうちに地域活動に費やす時間」(SA)

[性別・年代別]



(12) 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るために必要だと思う取り組み

【図表 61】 問 12 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るためには、どのような取り組みが必要であると思いますか。企業・職場が取り組む必要があるとあなたが思うものに○をつけてください。(MA) [性別・年代別]



「仕事と生活の調和」を図るために必要だと思う取り組みとして、「職場の風土づくり」、「柔軟な勤務」、「管理職の意識改革」、「トップのリーダーシップ」、「無駄な手続き・作業をなくす」がほぼ同率で続く。